

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	ビジュアルアップワーク		学科名	ファッション学科			授業方法	演習
担当教員	名古 玲央/MIKI		学年・学期	2年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須
授業概要・授業内容	6月の学内でのファッションショー、9月の田町ファッションマーケット、2月の卒業制作ショーに向けて、ウォーキング、ポージング、ショーの構成等を指導。服のテイストに合わせたウォーキング、ポージング、ショーの表現、見せ方、表情の作り方など、様々なバリエーションがある事、人前で表現する事、発言する事、イベントを作り上げる中で自分から気づき動ける人間になるために、学べる内容にします。							
到達目標	社会に出て働くこと、自分の目標を掲げて努力すること、達成した時の楽しさ(達成感)、チームワークの大切さ、自分の意見や考えが上手く表現でき伝えられるような人間に指導していきたいと思います。							
授業計画・内容								
第1週	前年度の卒業制作ショーの感想、気づき(MIKI)			第16週	トレンドヘアアレンジ(MIKI)			
第2週	前年度の卒業制作ショーの感想、気づき(玲央)			第17週	ファッションショー構成プランを作る(玲央)			
第3週	メイクのベース作り(MIKI)			第18週	卒業展のヘアメイクを考える(MIKI)			
第4週	ウォーキング、ポージング応用(玲央)			第19週	ファッションショー構成をみんなの前で発表(玲央)			
第5週	ショーに向けてのヘアメイク(MIKI)			第20週	卒業展に向けてのヘアメイク(MIKI)			
第6週	ショーの構成、音の選び方、動線の作り方(玲央)			第21週	卒業制作ショーに向けて練習(玲央)			
第7週	ヘアアレンジ(MIKI)			第22週	卒業展に向けてのヘアメイク(MIKI)			
第8週	卒業制作ショーテーマ決め、デザイン画(玲央)			第23週	卒業制作ショーに向けて練習(玲央)			
第9週	ショーに向けてのヘアメイク(MIKI)			第24週	卒業展に向けてのヘアメイク(MIKI)			
第10週	デザイン画チェック(玲央)			第25週	卒業制作ショーに向けてリハーサル(玲央)			
第11週	ショーに向けてのヘアメイク(MIKI)			第26週	卒業展に向けてのヘアメイク(MIKI)			
第12週	田町ファッションマーケット準備(玲央)			第27週	卒業制作ショーに向けてリハーサル(玲央)			
第13週	トレンドメイク(MIKI)			第28週	卒業展に向けてのヘアメイク(MIKI)			
第14週	田町ファッションマーケット準備(玲央)			第29週	卒業制作ショーに向けてリハーサル(玲央)			
第15週	田町ファッションマーケットリハーサル(玲央)			第30週	卒業展に向けてのヘアメイク(MIKI)			
評価方法	定期試験は実施せずに、毎授業の出席状況、授業態度、イベント中の態度、ウォーキング・ポージング、ヘアメイクを考慮して成績を評価する。							
教科書教材など								
実務経験	ファッションショーモデル、モデル育成10年以上(玲央)/コレクションヘアメイク・ブライダルヘアメイク・ヘアメイク講師10年以上(MIKI)				実務経験のある教員による授業科目			✓

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	イベントディレクション		学科名	ファッション学科		授業方法	実習
担当教員	多田晋平/難波亮太/田邊幸子/藤原里栄/岡本敏枝		学年・学期	2年・通年	時間数	120 時間	必須・選択 必須
授業概要 授業内容	<p>前期に田町ファッションマーケット、後期に卒業展ファッションショーの企画と構成デザインを実践で行うことで、行動力とスケジュール管理能力を養う。</p> <p>仕事の役割分担を決め、グループワークで課題解決を進めていく。</p>						
到達目標	各自与えられた企画の仕事を果たすことで、イベントを自ら企画運営、進行することができる。イベントをスムーズに執り行うことができる。						
授業計画・内容							
第1週	ファッションゼミ説明・オリエンテーション		第16週	ファッション企画準備①			
第2週	ファッションコレクション企画の構成説明		第17週	ファッション企画準備②			
第3週	業界研究①		第18週	音響編集			
第4週	業界研究②		第19週	ステージ構成決め			
第5週	アイテム研究①		第20週	ファッション企画準備③			
第6週	アイテム研究②		第21週	活動報告プレゼン			
第7週	アイテム研究プレゼン		第22週	ファッション企画準備④			
第8週	トレンド研究①		第23週	ファッション企画準備⑤			
第9週	トレンド研究②		第24週	ファッション企画準備⑥			
第10週	ファッション企画準備①		第25週	活動報告プレゼン			
第11週	ファッション企画準備②		第26週	ファッション企画準備⑦			
第12週	ファッション企画準備③		第27週	ファッション企画準備⑧			
第13週	ファッション企画準備④		第28週	ファッション企画準備⑨			
第14週	ファッション企画準備⑤		第29週	ファッション企画準備⑩			
第15週	企画発表		第30週	企画発表			
評価方法	出席率、製作・発表内容、授業態度から評価を行う。						
教科書 教材など							
実務経験						実務経験のある教員による 授業科目	

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	ファッションプロデュース/トレンド・商品論	学科名	ファッション学科			授業方法	演習
担当教員	越智 輝佳	学年・学期	2年・通年	時間数	90 時間	必須・選択	必須
授業概要・授業内容	授業概要:ブランドプロデュース 課題解決型のチームミッション。 授業方法:製作課題をチーム毎に分かれて、企画・製作・販売までを計画して行っていく授業です。						
到達目標	技術力、協調性、プレゼン力といった社会人として必要になってくる技術や経験を身につけるための授業。						
授業計画・内容							
第1週	ブランドプロデュース1 ※オリジナル教材に基づいて行います	第16週	ブランドプロデュース16 ※オリジナル教材に基づいて行います				
第2週	ブランドプロデュース2 ※オリジナル教材に基づいて行います	第17週	ブランドプロデュース17 ※オリジナル教材に基づいて行います				
第3週	ブランドプロデュース3 ※オリジナル教材に基づいて行います	第18週	ブランドプロデュース18 ※オリジナル教材に基づいて行います				
第4週	ブランドプロデュース4 ※オリジナル教材に基づいて行います	第19週	ブランドプロデュース19 ※オリジナル教材に基づいて行います				
第5週	ブランドプロデュース5 ※オリジナル教材に基づいて行います	第20週	ブランドプロデュース20 ※オリジナル教材に基づいて行います				
第6週	ブランドプロデュース6 ※オリジナル教材に基づいて行います	第21週	ブランドプロデュース21 ※オリジナル教材に基づいて行います				
第7週	ブランドプロデュース7 ※オリジナル教材に基づいて行います	第22週	ブランドプロデュース22 ※オリジナル教材に基づいて行います				
第8週	ブランドプロデュース8 ※オリジナル教材に基づいて行います	第23週	ブランドプロデュース23 ※オリジナル教材に基づいて行います				
第9週	ブランドプロデュース9 ※オリジナル教材に基づいて行います	第24週	ブランドプロデュース24 ※オリジナル教材に基づいて行います				
第10週	ブランドプロデュース10 ※オリジナル教材に基づいて行います	第25週	ブランドプロデュース25 ※オリジナル教材に基づいて行います				
第11週	ブランドプロデュース11 ※オリジナル教材に基づいて行います	第26週	ブランドプロデュース26 ※オリジナル教材に基づいて行います				
第12週	ブランドプロデュース12 ※オリジナル教材に基づいて行います	第27週	ブランドプロデュース27 ※オリジナル教材に基づいて行います				
第13週	ブランドプロデュース13 ※オリジナル教材に基づいて行います	第28週	ブランドプロデュース28 ※オリジナル教材に基づいて行います				
第14週	ブランドプロデュース14 ※オリジナル教材に基づいて行います	第29週	ブランドプロデュース29 ※オリジナル教材に基づいて行います				
第15週	ブランドプロデュース15 ※オリジナル教材に基づいて行います	第30週	ブランドプロデュース30 ※オリジナル教材に基づいて行います				
評価方法	出席率・製作物・授業最終日に行うプレゼンを試験として総合的に評価します。						
教科書教材など	オリジナルの教材を製作し、それに基づいて授業を行います。						
実務経験	アパレル営業・MD経験10年以上				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	ファッション色彩 I	学科名	ファッション学科			授業方法	講義
担当教員	中村 仁美	学年・学期	2年・前期	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要 授業内容	○授業方法 パーソナルカラーの知識を活かしたコーディネート提案の実施、過去問題を解くなど。						
到達目標	色彩感覚を身につけ、コーディネートして楽しむことができるようになる。 自分だけではなく、相手のコーディネートもできるようになる。 文部科学省後援色彩検定3取得。 一般社団法人日本カラーコーディネーター協会色彩活用パーソナルカラー検定3級取得。						
授業計画・内容							
第1週	パーソナルカラー自己診断、相互診断						
第2週	PCCS色相色相番号、明度数値、彩度数値について / パーソナルカラーコーデMAP作成(春コーデ)						
第3週	系統氏名、慣用色名について / パーソナルカラーコーデMAP作成(春コーデ)						
第4週	色の効果、心理作用について / パーソナルカラーコーデ発表						
第5週	色の効果、心理作用について / 配色トレーニング						
第6週	同化効果、トーン及び色相の統一・変化、、配色技法について / ファッションカラーコーデ提案1						
第7週	カラーコーデ提案1 発表						
第8週	配色アドバイス、ドレーピング方法 / ファッションカラーコーデ提案2						
第9週	パーソナルカラーまとめ / ファッションカラーコーデ提案2						
第10週	カラーコーデ提案2 発表						
第11週	ファッションカラーコーデ まとめ						
第12週	パーソナルカラーコーデMAP作成(夏コーデ)						
第13週	パーソナルカラーコーデ発表						
第14週	パーソナルカラーコーデMAP作成(夏コーデ)						
第15週	パーソナルカラーコーデ発表 / パーソナルカラー授業まとめ						
評価方法	定期試験、出欠状況、授業態度、提出物を考慮して成績を評価する。						
教科書 教材など	◎パーソナルカラー ・色彩活用パーソナルカラー検定 公式テキスト3級[改訂版] ・色彩活用パーソナルカラー検定 公式テキスト2級[改訂版]						
実務経験						実務経験のある教員による 授業科目	

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	ファッションコーディネーション	学科名	ファッション学科			授業方法	講義
担当教員	多田 晋平	学年・学期	2年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須選択
授業概要・授業内容	ファッションコーディネートに関する授業を通じて、グループマッピングやコーディネートプレゼンを行い、販売員が接客時に必要となるコーディネート能力を養う。また、店舗マネジメント職やMD職として必要な商品仕入れ授業、SNSを使った情報発信の授業などを行い、業界に入ってから活かせる経験を積ませていく。						
到達目標	業界に入ってから活かすことのできるレベルのファッション知識を得ることと、コーディネート能力と情報発信力を身につける。						
授業計画・内容							
第1週	ファッションコーディネーション授業説明 (4/11)			第16週	後期授業説明 (10/3)		
第2週	SNS グループアカウント作成 (4/18)			第17週	SNS グループワーク① (10/17)		
第3週	SNS 撮影 (4/25)			第18週	SNS グループワーク② (10/24)		
第4週	商品仕入れ① (5/9)			第19週	SNS グループワーク③プレゼン発表 (10/31)		
第5週	商品仕入れ② (5/16)			第20週	SNS グループワーク④フィードバック (11/7)		
第6週	商品仕入れ③途中経過プレゼン (5/30)			第21週	シルエットについて (11/14)		
第7週	商品仕入れ④ (6/6)			第22週	シルエットについて (11/21)		
第8週	商品仕入れ⑤ (6/13)			第23週	コーディネートにおける色合わせ (11/28)		
第9週	商品仕入れ⑥プレゼン発表 (6/20)			第24週	コーディネートにおける色合わせ (12/5)		
第10週	SNS 経過報告確認とフィードバック (6/27)			第25週	コーディネート作品製作① (12/12)		
第11週	コーディネート製作① (7/4)			第26週	コーディネート作品製作② (12/19)		
第12週	コーディネート製作② (7/11)			第27週	コーディネート作品製作③ (1/16)		
第13週	コーディネート製作③ (7/25)			第28週	コーディネート作品製作④ (1/23)		
第14週	コーディネート製作④ (9/5)			第29週	コーディネート作品製作⑤プレゼン発表 (1/30)		
第15週	コーディネート製作⑤プレゼン発表 (9/12)			第30週	まとめ (2/6)		
評価方法	課題提出、製作物・プレゼン内容、SNSフォロワー数、出席率、授業態度から評価を行う。						
教科書教材など	ファッション販売能力検定試験2級公式テキスト 改訂版						
実務経験	アパレルショップ販売員経験12年、内、店長経験6年				実務経験のある教員による授業科目		✓

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	リテールマーチャンダイジング	学科名	ファッション学科			授業方法	演習	
担当教員	高瀬 修	学年・学期	2年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須選択	
授業概要・授業内容	ショップの店長を任せて時に必要な店舗運営・マネジメントについての必要な知識と業務の流れを理解する。また企業が求めるマネージャーとしての能力、スキルを理解し、バイヤーなどへキャリアアップを狙える人材を育成する。							
到達目標	店舗運営にかかる業務を理解し、店長として必要なスキルを学べる姿勢を身に着ける。売上目標を達成する為にできる打ち手を考えることができ、周知徹底する事を考え方を身に着ける。							
授業計画・内容								
第1週	キャリアについて考えよう(自己紹介と相互理解)	第16週	②-1モノの適正化(数字の見方)					
第2週	前段マーチャンダイジングとは?リテールマーチャンダイジング=店長の仕事	第17週	②-2モノの適正化(商品化計画)					
第3週	①-1ヒトの適正化(リーダーシップとは?)	第18週	②-2モノの適正化(商品化計画)					
第4週	①-2ヒトの適正化(自分の適正を知ろう)	第19週	②-3モノの適正化(データからニーズを探る)					
第5週	①-3ヒトの適正化(P機能の伸ばし方)	第20週	②-3モノの適正化(データからニーズを探る)					
第6週	①-3ヒトの適正化(P機能の伸ばし方)	第21週	②-4モノの適正化(データレポートの作成)					
第7週	①-4ヒトの適正化(M機能の伸ばし方)	第22週	③-1ウツワの適正化(VMDの目的)					
第8週	①-4ヒトの適正化(M機能の伸ばし方)1on1の実習。	第23週	③-2ウツワの適正化(経費の管理、試算表の見方)					
第9週	①-4ヒトの適正化(M機能の伸ばし方)ミーティング実習	第24週	③-3ウツワの適正化(顧客管理の重要性)					
第10週	①-5ヒトの適正化 言語化トレーニング	第25週	③-4ウツワの適正化(マーケティング理論)					
第11週	①-5ヒトの適正化 言語化トレーニング	第26週	③-4ウツワの適正化(マーケティング理論)					
第12週	①-6ヒトの適正化 シフト作成	第27週	③-5ウツワの適正化(環境整備の重要性)					
第13週	①-6ヒトの適正化 評価を付ける	第28週	フィールドワーク リサーチレポートを作成しよう。					
第14週	①-6ヒトの適正化 フィードバックする	第29週	まとめ どんな店長を目指すか?(プレゼンテーション)①					
第15週	ヒトの適正化 にまとめ	第30週	まとめ どんな店長を目指すか?(プレゼンテーション)②					
評価方法	出席率とテスト期にレポートを作成してもらい内容評価します。(正解を出すという内容ではなく、自分の考えをわかりやすく他の人に伝える事を主眼にしたいと考えています。)							
教科書教材など	POWER POINTで作成。学生には一单元ごとに授業ノートになるレジュメを配布。一单元にそれぞれがまとめたものをファイルしてもらいます。							
実務経験	JEANSFACTORYでの店長経験、ECのバイイング業務					実務経験のある教員による授業科目		✓

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	接客コミュニケーションⅡ	学科名	ファッション学科			授業方法	講義
担当教員	多田 晋平	学年・学期	2年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須選択
授業概要 ・ 授業内容	販売員を目指す上で、基礎的な知識と技術を養うための授業とする。販売員に必要な「お客様の立場に立つ」目線を伸ばすために、ニーズの把握・分析や商品提案の内容を深堀していく。						
到達目標	業界に入る前に、店頭に立つうえでの基礎的な技術を身につける。また、販売員として必要な「お客様の立場に立った目線」を身につける。						
授業計画・内容							
第1週	接客コミュニケーション授業説明 (4/14)	第16週	後期授業内容説明 (10/6)				
第2週	あいさつについて (4/21)	第17週	プレゼンテーションについて (10/13)				
第3週	表情・立ち振る舞いについて (4/28)	第18週	プレゼンテーション活動 (10/20)				
第4週	表情・立ち振る舞いについて (5/12)	第19週	プレゼンテーション活動 (10/27)				
第5週	アプローチについて (5/19)	第20週	プレゼンテーション発表 (11/10)				
第6週	アプローチの種類 (5/26)	第21週	プレゼンテーションフィードバック (11/17)				
第7週	アプローチ分析 (6/2)	第22週	提案準備と分析 (11/24)				
第8週	アプローチ分析 発表 (6/9)	第23週	提案準備と分析 (12/1)				
第9週	アプローチ分析 フィードバック (6/16)	第24週	提案準備と分析 (12/8)				
第10週	ニーズ把握と分析 (6/23)	第25週	商品提案 (12/15)				
第11週	ニーズ把握と分析 (6/30)	第26週	商品提案 (12/22)				
第12週	ニーズ把握と分析 (7/7)	第27週	商品提案 (1/12)				
第13週	クロージングについて (7/14)	第28週	商品提案 プレゼン発表 (1/19)				
第14週	レジ対応について (7/21)	第29週	商品提案 フィードバック (1/26)				
第15週	前期まとめ (9/8)	第30週	後期まとめ (2/2)				
評価方法	出席率、課題提出・プレゼン内容、授業態度により評価を行う						
教科書 教材など	前職で使用していた新人接客マニュアル						
実務経験	アパレルショップ販売員経験12年、内、店長経験6年					実務経験のある教員による 授業科目	✓

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	ビジュアルマーチャンドライジングⅡ	学科名	ファッション学科			授業方法	演習
担当教員	多田 晋平	学年・学期	2年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須選択
授業概要・授業内容	販売員として店舗に立つうえで、ディスプレイを変更する機会が多いため、その時に役に立つ知識・技術を養う。田町ファッションマーケットや卒業展といったイベント時に実際にディスプレイを組んだり、ハロウィンやクリスマスといった行事のタイミングでディスプレイを組んでいくことで、業界に入ってからすぐに活かせる経験を積ませる。						
到達目標	業界に入ってから、1日目より店舗のディスプレイを変更することができるレベルとする。						
授業計画・内容							
第1週	VMDについて授業説明 (4/13)			第16週	後期授業説明 (10/5)		
第2週	衣服のたたみ方 (4/20)			第17週	ハロウィンディスプレイ製作(10/12)		
第3週	VMDの基礎知識(4/27)			第18週	ハロウィンディスプレイ完成(10/19)		
第4週	VMDの基礎知識(5/11)			第19週	ディスプレイフィードバック(10/26)		
第5週	VMDの基礎知識(5/18)			第20週	VMDの応用知識(11/2)		
第6週	基礎的なVMD製作(5/25)			第21週	クリスマスディスプレイについて(11/9)		
第7週	基礎的なVMD製作(6/1)			第22週	クリスマスディスプレイ製作(11/16)		
第8週	基礎的なVMD製作(6/8)			第23週	クリスマスディスプレイ製作(12/7)		
第9週	VMD発表とフィードバック(6/15)			第24週	クリスマスディスプレイ完成(12/14)		
第10週	イベント用VMDについて(6/22)			第25週	クリスマスVMDフィードバック(12/21)		
第11週	イベントVMD準備(6/29)			第26週	卒業展VMD準備(1/11)		
第12週	イベントVMD準備(7/6)			第27週	卒業展VMD準備(1/18)		
第13週	イベントVMD準備(7/13)			第28週	卒業展VMD準備(1/25)		
第14週	イベントVMD準備(7/20)			第29週	卒業展VMDプレゼン発表(2/1)		
第15週	イベントVMD製作(9/7)			第30週	卒業展VMDまとめ(2/8)		
評価方法	出席点、課題製作物・プレゼン発表内容、授業態度より評価を行う						
教科書教材など	ファッション販売						
実務経験	アパレルショップ販売員経験12年、内、店長経験6年				実務経験のある教員による授業科目		✓

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	EC・プロモーション戦略	学科名	ファッション学科			授業方法		演習	
担当教員	高瀬 修	学年・学期	2年・通年	時間数	45時間	必須・選択	必須		
授業概要・授業内容	ECビジネスとプロモーション(WEBマーケティング)の基本理解を得る。実際の業務内容を知り、必要なスキルを身に着ける。業界に入ってから活かせるECプロモーションを体験する。(グループワークや模擬店舗の作成)								
到達目標	ファッション販売におけるEC活用の重要性を知る。ECを活用した販売、プロモーション方法、戦略の理解 模擬店舗の運営をし、データからの振り返りができるようになる。								
授業計画・内容									
第1週	グループワーク(画像検索クイズ)			第16週	③-6 模擬店舗実習				
第2週	① なぜ?ECが必要なのか			第17週	④-1 データの見方を知ろう				
第3週	②-1 ECの仕組みを知っておこう(インターネットとは?)			第18週	④-2 データの見方を知ろう(グーグルアナリティクス)				
第4週	②-2 ECの仕組みを知っておこう(ECサイトの種類と戦略の違い)			第19週	④-2 データの見方を知ろう(データから打ち手を考える)				
第5週	②-3 ECの仕組みを知っておこう(メリットとデメリット)			第20週	⑤-1 戦略とは?(事例紹介)				
第6週	③-1 ECのお仕事とは?(業務内容の理解)			第21週	⑤-2 戦略とは?(SNS戦略)				
第7週	③-2-1 ECのお仕事とは?(ささげ業務)撮影			第22週	⑤-2 戦略とは?(広告戦略)				
第8週	③-2-2 ECのお仕事とは?(ささげ業務)採寸、原稿			第23週	⑤-2 戦略とは?(SEO戦略)				
第9週	③-3 ECのお仕事とは?(受発注管理)			第24週	⑤-3 戦略とは?(マーケティング理論)				
第10週	③-4 ECのお仕事とは?(総合管理)			第25週	⑥-1 ECで利益を出そう!(利益構造の理解)				
第11週	③-5 ECのお仕事とは?(フロント業務)			第26週	⑥-2 ECで利益を出そう!(予算設定と実績検証)				
第12週	③-5 ECのお仕事とは?(フロント業務)			第27週	模擬店舗実習のまとめ(プレゼンテーション)				
第13週	③-6 模擬店舗実習(ファッションマーケット)			第28週	SNSアカウントのまとめ(プレゼンテーション)				
第14週	③-6 模擬店舗実習(ファッションマーケット)			第29週	ファッションフェスに向けてのプロモーション				
第15週	③-6 模擬店舗実習(ファッションマーケット)			第30週	ファッションフェスに向けてのプロモーション				
評価方法	出席率とテスト期にレポートを作成してもらい内容評価します。(正解を出すという内容ではなく、自分の考えをわかりやすく他の人に伝える事を主眼にしたいと考えています。)								
教科書教材など	POWER POINTで作成。学生には一单元ごとに授業ノートになるレジュメを配布。一单元にそれぞれがまとめたものをファイルしてもらいます。								
実務経験	JEANSFACTORY EC事業部マネージャー10年以上				実務経験のある教員による授業科目				✓

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	販売実習	学科名	ファッション学科			授業方法	実習	
担当教員	多田 晋平	学年・学期	2年・前期	時間数	60 時間	必須・選択	必須選択	
授業概要・ 授業内容	ファッション業界のショップスタイリストを目指す上で、社会に出てから即戦力として動いていけるよう、販売員としてのマナー、考え方、店頭での表情・立ち振る舞いなどを授業で演習も交え学んでいき、そこから実際の企業の店舗に立ち、現場の空気、接客活動を経験する。そして社会に出てから活かせるよう実習体験のフィードバックを行う。 授業方法としては、講義形式の校内学習と、実際に企業の店舗に立つ実践的な取り組みを共に行う。							
到達目標	販売実習の経験を通じて、社会に出てから販売員として即戦力となる考え方、技術を実践的に身につける。							
授業計画・内容								
第1週	授業内容の説明と、2022春夏トレンドリサーチ 4/12							
第2週	店舗リサーチと報告会① 4/19							
第3週	店舗リサーチと報告会② 4/26							
第4週	店舗リサーチと報告会③ 5/10							
第5週	店舗リサーチと報告会④ 5/17							
第6週	店舗リサーチフィードバック 5/24							
第7週	接客ロールプレイングの説明と接客の心構え講義 5/31							
第8週	接客調査 6/7							
第9週	接客調査 6/14							
第10週	接客ロールプレイング 6/21							
第11週	接客ロールプレイング 6/28							
第12週	田町Fマーケット 販売準備 7/5							
第13週	田町Fマーケット 販売準備 7/12							
第14週	田町Fマーケット 販売準備 7/20							
第15週	田町Fマーケット 販売準備 9/6							
評価方法	出席率、課題提出・プレゼン発表内容、授業態度より評価を行う。							
教科書 教材など	参考資料:「ファッション販売」「ファッションプレス」「織研新聞」など							
実務経験	アパレルショップ販売員経験12年、内、店長経験6年					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	店舗企画	学科名	ファッション学科			授業方法	演習	
担当教員	多田 晋平	学年・学期	2年・後期	時間数	60 時間	必須・選択	必須選択	
授業概要・ 授業内容	ファッション業界のショップスタイリストを目指す上で、社会に出てから即戦力として動いていけるよう、販売員としてのマナー、考え方、店頭での表情・立ち振る舞いなどを授業で演習も交え学んでいき、そこから実際の企業の店舗に立ち、現場の空気、接客活動を経験する。そして社会に出てから活かせるよう実習体験のフィードバックを行う。 授業方法としては、講義形式の校内学習と、実際に企業の店舗に立つ実践的な取り組みを共に行う。							
到達目標	販売実習の経験を通じて、社会に出てから販売員として即戦力となる考え方、技術を実践的に身につける。							
授業計画・内容								
第1週	授業内容の説明と2023AWトレンドリサーチ。 10/3							
第2週	AWトレンド 店舗リサーチと報告会 10/17							
第3週	AWトレンド 店舗リサーチと報告会 10/24							
第4週	AWトレンド 店舗リサーチと報告会 10/31							
第5週	AWトレンド 店舗リサーチまとめとプレゼン発表 11/7							
第6週	接客ロールプレイング実習 11/14							
第7週	接客ロールプレイング実習 11/21							
第8週	接客ロールプレイング発表とフィードバック 11/28							
第9週	クリスマスディスプレイリサーチ 12/5							
第10週	企業での店舗実習準備 12/12							
第11週	企業での店舗実習準備 12/19							
第12週	卒業展ショップ運営について説明と準備 1/16							
第13週	卒業展ショップ運営準備 1/23							
第14週	卒業展ショップ運営準備 1/30							
第15週	卒業展ショップ運営準備と最終確認 2/6							
評価方法	出席率、課題提出・プレゼン内容、授業態度より評価を行う。							
教科書 教材など	参考資料:「ファッション販売」「ファッションプレス」「織研新聞」など							
実務経験	アパレルショップ販売員経験12年、内、店長経験6年					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	ファッションビジネス・販売Ⅱ	学科名	ファッション学科			授業方法	講義
担当教員	多田 晋平	学年・学期	2年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須選択
授業概要・授業内容	ファッション販売能力検定2級の合格に向けて、公式テキストと公式問題集を使い、講義授業を行う。販売員やMD、デザイナーを目指す上で、業界に入ってから必要となる専門的な情報、専門的な知識を学習させていき、即戦力となる人材へ育てていく。 授業の中で定期的に授業内テストを行うようにし、学生の理解度を把握しながらすすめていく。						
到達目標	ファッション販売能力検定2級の合格						
授業計画・内容							
第1週	授業説明と【A科目1】ファッション販売知識 4/15	第16週	【B科目2】売り場づくり 10/7				
第2週	【A科目2】マーケティング 4/22	第17週	【B科目3】商品知識 10/14				
第3週	【A科目2】マーケティング 5/13	第18週	【B科目3】商品知識 10/21				
第4週	【A科目2】マーケティング 5/20	第19週	【B科目3】商品知識 10/28				
第5週	【A科目3】店舗運営管理 5/27	第20週	【B科目3】商品知識 11/4				
第6週	【A科目3】店舗運営管理 6/3	第21週	【B科目3】商品知識 11/11				
第7週	【A科目3】店舗運営管理 6/10	第22週	検定対策 11/18				
第8週	【B科目1】ファッション販売技術 6/17	第23週	検定対策 11/25				
第9週	【B科目1】ファッション販売技術 6/24	第24週	検定対策 12/2(12/3検定日)				
第10週	【B科目1】ファッション販売技術 7/1	第25週	授業内容振り返りと後期試験対策 12/9				
第11週	【B科目1】ファッション販売技術7/8	第26週	授業内容振り返りと後期試験対策 12/16				
第12週	【B科目2】売り場づくり 7/15	第27週	授業内容振り返りと後期試験対策 1/13				
第13週	【B科目2】売り場づくり 7/22	第28週	授業内容振り返りと後期試験対策 1/20				
第14週	【B科目2】売り場づくり 9/2	第29週	授業内容振り返りと後期試験対策 1/27				
第15週	前期試験 9/9	第30週	後期試験 2/3				
評価方法	出席率、前期・後期試験点数、授業内テスト、授業態度により評価を行う(検定合格者には追加点)						
教科書教材など	ファッション販売2 ファッション販売能力検定2級公式テキスト ファッション販売能力検定試験2級公式問題集						
実務経験	アパレルショップ販売員経験12年、内、店長経験6年					実務経験のある教員による 授業科目	
						✓	

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	ビジネスマナーⅡ	学科名	ファッション学科			授業方法	講義
担当教員	時實 好恵	学年・学期	2年・前期	時間数	30 時間	必須・選択	必須選択
授業概要・ 授業内容	1年次に学習した基本的ビジネスマナーを基礎とし、ビジネス社会で必要とされる文書に関する知識と社会人として身につけておくべき慶弔の知識を学ぶ。 授業は主として講義形式で行い、学習内容に応じた演習を行う。						
到達目標	ビジネスマナーでの学習を出発点とし、その他の教科・科目とも組み合わせたキャリア教育としてのコミュニケーション能力の育成。						
授業計画・内容							
第1週	ビジネス文書①(ビジネス文書の分類、種類、用紙の知識)						
第2週	ビジネス文書②(社外文書の慣用表現、社外文書の様式)						
第3週	ビジネス文書③(社外文書の作成)						
第4週	ビジネス文書④(社外文書の作成)						
第5週	ビジネス文書⑤(社外文書の作成)						
第6週	ビジネス文書⑥(社交文書の作成)						
第7週	ビジネス文書⑦(社交文書の作成)						
第8週	ビジネス文書⑧(社内文書様式、社内文書の作成)						
第9週	ビジネス文書⑨(社内文書の作成)						
第10週	ビジネス文書⑩(グラフ作成)						
第11週	ビジネス文書⑩(グラフ作成、印鑑の知識)						
第12週	ビジネス文書⑪(郵便の知識、受発信業務)						
第13週	慶弔・贈答(慶事の知識・祝儀袋)						
第14週	慶弔・贈答(弔事の知識・不祝儀袋)						
第15週	慶弔・贈答(贈答の知識)						
評価方法	定期試験、出席状況、提出物、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安:定期試験(50%)・出席状況(15%)、提出物(15%)、授業態度(20%)						
教科書 教材など	プリント、ファイル						
実務経験						実務経験のある教員による 授業科目	

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	ビジネスマナーⅢ	学科名	ファッション学科			授業方法	講義
担当教員	時實 好恵	学年・学期	2年・後期	時間数	30 時間	必須・選択	必須選択
授業概要・授業内容	2年次前期までに学習した内容(言葉遣い、電話応対、来客応対、文書作成、慶弔・贈答の知識)を基礎に事例研究と演習を行う。また、2年生後期11月までにサービス接遇検定準1級レベルの演習を実施する。						
到達目標	ビジネスマナーでの学習を出発点とし、その他の教科・科目とも組み合わせたキャリア教育としてのコミュニケーション能力の育成。						
授業計画・内容							
第1週	企業に関する知識(組織・役職・社会的責任)						
第2週	ビジネス技能①(情報管理)						
第3週	ビジネス技能②(会議)						
第4週	ビジネス技能③(オフィス機器、事務用品)						
第5週	ビジネス・シミュレーション①(電話応対)						
第6週	ビジネス・シミュレーション②(電話応対)						
第7週	ビジネス・シミュレーション③(来客応対)						
第8週	ビジネス・シミュレーション④(来客応対)						
第9週	サービス接遇検定準1級対策(面接①)						
第10週	サービス接遇検定準1級対策(面接②)						
第11週	サービス接遇検定準1級対策(面接③)						
第12週	ビジネス・シュミレーション⑤(日程管理・アポイントメント)						
第13週	ビジネス・シュミレーション⑥(書類作成)						
第14週	ビジネス・シュミレーション⑦(資料管理)						
第15週	ビジネス・シュミレーション⑧(会議)						
評価方法	定期試験、出席状況、提出物、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安:定期試験(50%)・出席状況(15%)、提出物(15%)、授業態度(20%)						
教科書 教材など	プリント、ファイル						
実務経験						実務経験のある教員による 授業科目	

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	ビジネスソフト演習Ⅱ	学科名	ファッション学科			授業方法	演習	
担当教員	内田 洋子	学年・学期	2年・前期	時間数	30 時間	必須・選択	必須選択	
授業概要 ・ 授業内容	実践的な練習問題を数多く解き、EXCELやWORDの機能を学び応用力を身につける。							
到達目標	EXCEL・WORDの機能を活かして効率よく資料が作れる。 応用力を身に付け、社会人になっても困らないスキルを身につける。							
授業計画・内容								
第1週	WORD (図・図形の挿入 段組み タブ)							
第2週	WORD 練習問題 (ポスター)							
第3週	WORD ラベル印刷(名刺作成)							
第4週	WORD 練習問題 (図・図の挿入 段組み タブとリーダー インデント ページ罫線)							
第5週	EXCEL 割合の計算							
第6週	EXCEL 復習 IF関数のネスト							
第7週	EXCEL 条件付き書式							
第8週	EXCEL 練習問題 (IF関数のネスト)							
第9週	EXCEL VLOOKUP関数							
第10週	EXCEL 練習問題 (IF関数とVLOOKUP関数のネスト)							
第11週	EXCEL INDEX関数 MATCH関数							
第12週	EXCEL 練習問題 (INDEX関数とMATCH関数を使った表検索)							
第13週	EXCEL 作業列の活用							
第14週	EXCEL 文字列関数							
第15週	EXCEL 練習問題							
評価方法	定期試験・課題提出状況・出席状況・授業態度を考慮して成績を評価する。							
教科書 教材など	FOM出版 情報リテラシー入門編 Windows10 Office2016対応 オリジナル 教材							
実務経験	パソコン教室インストラクター 公的職業訓練講師					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	ビジネスソフト演習Ⅲ	学科名	ファッション学科			授業方法	演習	
担当教員	内田 洋子	学年・学期	2年・後期	時間数	30 時間	必須・選択	必須選択	
授業概要 ・ 授業内容	実践的な練習問題を数多く解き、EXCELやWORDの機能を学び応用力を身につける。							
到達目標	EXCEL・WORDの機能を活かして効率よく資料が作れる。 応用力を身に付け、社会人になっても困らないスキルを身につける。							
授業計画・内容								
第1週	電子メールのマナー							
第2週	EXCEL PHONETIC関数 ふりがな							
第3週	EXCEL エラーを表示させない							
第4週	EXCEL 入力規則							
第5週	EXCEL COUNTIF SUMIF TEXT関数							
第6週	EXCEL 年齢の計算							
第7週	EXCEL 日付の計算							
第8週	EXCEL 時間の計算							
第9週	EXCEL 名前の活用							
第10週	EXCEL データベース機能							
第11週	EXCEL テーブル							
第12週	WORD EXCEL 総復習練習問題							
第13週	WORD EXCEL 総復習練習問題							
第14週	WORD EXCEL 総復習練習問題							
第15週	WORD EXCEL 総復習練習問題							
評価方法	定期試験・課題提出状況・出席状況・授業態度を考慮して成績を評価する。							
教科書 教材など	FOM出版 情報リテラシー入門編 Windows10 Office2016対応 オリジナル 教材							
実務経験	パソコン教室インストラクター 公的職業訓練講師					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	ファッションイラストレーションⅢ	学科名	ファッション学科			授業方法	演習	
担当教員	田邊 幸子	学年・学期	2年・前期	時間数	30 時間	必須・選択	必須選択	
授業概要 授業内容	ファッションイラストによる情報伝達の向上のためのイラスト力と表現力の上達。 授業は実技形式。毎時間10分間クロッキー(観察力を鍛え、全体を塊としてとらえる練習)で時間内に1体以上必ず描くといったような繰り返し練習で実技を学ぶ。 様々な場面での必要な描き方やデザインの出し方、着色の仕方など講義で説明しながら実践で上達を図る。同時にファッション業界におけるイラストの必要性や設計としてのアパレル量産のデザインの理解度を高める。一方、芸術としてのデザイン(コンテストやファッションショー)も学ぶ。 卒展ファッションショーのイメージ出し・デザイン出し・イラスト作成のサポート							
到達目標	卒展ファッションショーのイメージとデザイン出しの感性を高め、イラスト力を上げる。 学内コンテストで入選をねらう 各コンテスト作品の作成 → 入選をねらう(自主参加)							
授業計画・内容								
第1週	・10分間クロッキー ①デザインを考えデザイン画を描く(テーマ: Cool Girlish) ・デザイン出し							
第2週	・10分間クロッキー ①デザインを考えデザイン画を描く(テーマ: Cool Girlish) ・仕上げ → 提出							
第3週	オリエンテーション FSのトレンド別タイプ分析、チーム分けに関するミーティング							
第4週	・10分間クロッキー ②デザインを考えデザイン画を描く(テーマ: お呼ばれ服) ・デザイン出し(スタイル画・ハンガーイラスト)							
第5週	・10分間クロッキー ②デザインを考えデザイン画を描く(テーマ: お呼ばれ服) ・仕上げ → デザイン説明も入れて提出							
第6週	・10分間クロッキー ③デザインを考えデザイン画を描く(テーマ: ピックアップデザイン) ・デザイン出し(ドローイングの描き方で)							
第7週	・10分間クロッキー ③デザインを考えデザイン画を描く(テーマ: ピックアップデザイン) ・仕上げ(黒の用紙に描いてみる) → 提出							
第8週	・10分間クロッキー ④デザインを考えデザイン画を描く(テーマ: ピックアップデザイン) ・デザイン出し(ドローイングの描き方で)							
第9週	・10分間クロッキー ④デザインを考えデザイン画を描く(テーマ: ピックアップデザイン) ・仕上げ(色の用紙に描いてみる) → 提出							
第10週	・10分間クロッキー ⑤デザインを考えデザイン画を描く(コンクール形式での出題) ・デザイン出し(スタイル画・ファッションイラストレーションの描き方で)							
第11週	・10分間クロッキー ⑤デザインを考えデザイン画を描く(コンクール形式での出題) ・仕上げ → 提出							
第12週	・10分間クロッキー ⑥デザインを考えデザイン画を描く(FS学内コンテスト) ・デザイン出し(描き方自由)							
第13週	・10分間クロッキー ⑥デザインを考えデザイン画を描く(FS学内コンテスト) ・デザイン出し～着色							
第14週	・10分間クロッキー ⑥デザインを考えデザイン画を描く(FS学内コンテスト) ・仕上げ → 提出							
第15週	・10分間クロッキー まとめ							
評価方法	出席率・授業取り組み内容・理解度・提出物・テスト ※評価内訳→提出物(各10点/計60点)・授業点(10点)・テスト(30点)							
教科書 教材など	ファッションデザイン画 ビギナーズ超速マスター ファッションデザインテクニック ファッションデザインアーカイブ (新・ファッションデザイン画テクニック) (文化ファッション大系 - ファッションデザイン画 服飾デザイン)							
実務経験	アパレル企業での定番デザイン企画・別注デザイン企画					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	アパレルマーチャライジング		学科名	ファッション学科		授業方法	演習	
担当教員	中村 仁美		学年・学期	2年・通年	時間数	120 時間	必須・選択	必須選択
授業概要 ・ 授業内容	産学連携企画のための事前準備として、実際の企画職務に必要な知識や技術の習得。カイトック様との産学連携企画にて、特に、学生に求められる柔軟な発想力からのアイデア企画を商品開発に結び付け、教育分野の地域産業への貢献、学生の仕事への達成感とその経験から社会人を養う事を目指す。							
到達目標	就職後、即戦力となるべく、アパレル企業内における企画職務の知識や思考、自分の意図する事を実現するための手順を論理的に考える力を身につける。特に、企画の組み立て方やMDサイクル業務に関して、実践演習を通して身につける。							
授業計画・内容								
第1週	企画の仕事概要・MDサイクル		第16週	市場調査(企画職としてみるポイント)				
第2週	企画の仕事概要・MDサイクル		第17週	市場調査(企画職としてみるポイント)				
第3週	企画の仕事概要・MDサイクル		第18週	企画のフレームワーク				
第4週	企画の仕事概要・MDサイクル		第19週	産学連携授業企画書作成				
第5週	模擬企画書①作成		第20週	産学連携授業企画書作成				
第6週	模擬企画書①作成		第21週	産学連携授業企画書作成				
第7週	模擬企画書①作成		第22週	クラス内にて企画書のプレゼン				
第8週	クラス内にて模擬企画書①のプレゼン		第23週	産学連携授業企画書修正				
第9週	模擬企画書①フィードバック/まとめ		第24週	産学連携授業企画書作成				
第10週	模擬企画書②作成		第25週	産学連携授業企画書作成				
第11週	模擬企画書②作成		第26週	産学連携授業企画書のプレゼン I				
第12週	模擬企画書②作成		第27週	産学連携授業企画書修正				
第13週	模擬企画書②作成		第28週	産学連携授業企画書修正				
第14週	クラス内にて模擬企画書②のプレゼン		第29週	産学連携授業企画書のプレゼン II				
第15週	模擬企画書②フィードバック/まとめ		第30週	産学連携授業企画書のフィードバック/まとめ				
評価方法	定期試験は実施せず、提出物(期限)、課題内容(完成度)、出席状況、授業態度(意欲・関心)、授業や課題での実践応用力を評価する。							
教科書 教材など								
実務経験	デザイナー実務経験9年				実務経験のある教員による 授業科目		✓	

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	MD・デザイナー職務実践演習	学科名	ファッション学科	授業方法	演習
担当教員	伊木 ゆみ	学年・学期	2年・通年	時間数	180 時間
授業概要・授業内容	産学連携企画にて学生に求められる柔軟な発想力からのアイデア企画を商品開発に結び付ける。企画立案を経験する。地域産業と関わり、学生の仕事への達成感とその経験から社会人を養う事を目指す。				
到達目標	就職後の実際の企画職務に必要な知識や技術の習得を目指す。特に、アパレル企画・設計に関する知識を、実践演習を通して身に付ける。学生デザインのユニフォームを企業に製品化してもらうことを目指す。				
授業計画・内容					
第1週	アパレル産業・サステナブル・マーケティング知識・産学連携課題について・ロゴデザイン	第16週	アパレル設計論 企画・生産工程・コスト	産学連携 企画立案	
第2週	デニム知識・実習	コンテストデザイン	第17週	アパレル設計論 テキスタイル・繊維	
第3週	工場見学	コンテストデザイン	第18週	アパレル設計論 糸	
第4週	産学連携アップサイクルデニム ショー構成	コンテストデザイン	第19週	アパレル設計論 布帛	
第5週	アップサイクルデニムファッションショー製作	コンテストデザイン	第20週	アパレル設計論 マル編地	
第6週		産学連携 企画立案演習	第21週	アパレル設計論 ニット	
第7週			第22週	アパレル設計論 仕上げ・加工	
第8週			第23週	アパレル設計論 染色・プリント	
第9週			第24週	アパレル設計論 二次加工	
第10週			第25週	アパレル設計論 副資材	
第11週			第26週	アパレル設計論 価値・コスト	
第12週	↓		第27週	アパレル設計論 生産管理	↓
第13週	ユニフォームデザイン		第28週	アパレル設計論 品質管理	産学連携企画 展示発表準備
第14週		↓	第29週	アパレル設計論 品質管理	
第15週	↓	小テスト	第30週	小テスト	↓
評価方法	レポート・作品提出、授業内小テスト、出席状況、授業態度				
教科書教材など	講師作成のプリント				
実務経験	アパレルデザイナーとして14年の経験			実務経験のある教員による授業科目	
				✓	

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	アパレルデザイン企画	学科名	ファッション学科			授業方法	演習	
担当教員	田邊 幸子	学年・学期	2年・後期	時間数	30 時間	必須・選択	必須選択	
授業概要 ・ 授業内容	情報伝達の向上のためのイラスト力と表現力の上達。 デザインを表現するためのCG技術の取得。 様々な場面での必要な描き方やデザインの出し方、ファッション業界におけるイラストの必要性や設計としてのアパレル量産のデザインの理解度を高める。一方、芸術としてのデザイン(イラスト、POP、パンフ、等)も学ぶ。							
到達目標	企画デザインのイメージとデザイン出しの感性を高め、イラスト力を上げる。 企画の流れを理解し各書類を作成できるようになる。							
授業計画・内容								
第1週	課題: 自分のブランドを立ち上げる【情報調査】 ・どのようなブランドにしたいか(ターゲット企画)・・・① ターゲット分析表 ② ターゲットMAP							
第2週	・市場調査(市場での流行や消費者ニーズなど)・・・③ 市場調査							
第3週	・2023.S/Sトレンド調査(トレンドをまとめる)・・・④トレンド分析表 ・コンセプトを決める							
第4週	・①～④ のまとめ							
第5週	課題: 自分のブランドを立ち上げる【ブランドの構築・企画】 ・表現したいファッションタイプ、テイストなどイメージをMAPにする・・・⑤ コンセプト、イメージMAP							
第6週	・メイン商品のブランドイメージのコーディネートMAP(デザイン出し、デザイン画)を作成・・・⑥ 提案MAP ・素材、カラーMAPを作成・・・⑦							
第7週	・メイン商品のブランドイメージのコーディネートMAP(デザイン出し、デザイン画)を作成・・・⑥ 提案MAP ・素材、カラーMAPを作成・・・⑦							
第8週	【商品構成】・デザインのバリエーションのデザイン出し							
第9週	【商品構成】・デザインのバリエーションのデザイン出し・・・⑧ アイテム企画を表にする							
第10週	・⑤～⑧のまとめ							
第11週	【依頼書の作成】・サンプル依頼を仮定して依頼書を作成する							
第12週	【依頼書の作成】・サンプル依頼を仮定して依頼書を作成する・・・⑨							
第13週	【展示用POP、パンフ】・FS展示用ブランドPOP、パンフの作成・・・⑩							
第14週	【商品台帳】・商品台帳を作成する(FS展示用)・・・⑪							
第15週	・⑨～⑪のまとめ							
評価方法	出席率・授業取り組み内容・理解度・提出物・テスト ※評価内訳→提出物(各10点(①②は各5点)/計100点)							
教科書 教材など	ファッションマーケティング 文化ファッション大系 - ファッションデザイン画 服飾デザイン							
実務経験	アパレル企業での定番デザイン企画・別注デザイン企画					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	アパレルCAD II	学科名	ファッション学科			授業方法		演習	
担当教員	向江かおり	学年・学期	2年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須	選択	選択
授業概要・授業内容	1年で学習した平面から立体パターン製作の逆の考え方で立体(既製服)から平面のパターン製作方法(ラヴオフ)を学習。合わせてマーキング・グレーディングの基本的な操作方法を指導していく。ファッションショーのパターン製作では、着る為のパターン。5ポケットのデニムジーンズでは、縮率入れ・縫い代をした。工場に出せるパターン作りを目指す。								
到達目標	仕事(会社)の中でのパタンナー・CADオペレーターの役割。仕事の流れを説明。								
授業計画・内容									
第1週	新文化原型を作る9AR(B=83cm背丈=38cm袖丈=52cm)、後身頃・前身頃・袖	第16週	ファッションショー パターン修正						
第2週	↓	第17週	(仮縫い後パターン修正)						
第3週	新文化原型 自分のサイズで作成	第18週	↓						
第4週	↓	第19週	複合機能 操作説明 (ボタンホール・ピンタック・ギャザー)						
第5週	男子原型・男子シャツ原型	第20週	既製品からのパターン作成(ラヴオフ)						
第6週	↓	第21週	①製品の測り方						
第7週	マーキング(型入れ)	第22週	②基準軸からの作成						
第8週	効率の良い型入れ・合理的な入力方法	第23週	③型紙出力して製品と合わせる						
第9週	↓	第24週	グレーディング						
第10週	↓	第25週	①配分図						
第11週	工業パターン・縫い代付・グレーディング説明パターンマーキング技術検定3級対応授業	第26週	②ルールNo.・管理表						
第12週	ファッションショー パターン製作	第27週	③ピッチ表						
第13週	↓	第28週	④移動量・文字式						
第14週	↓	第29週	⑤寸法チェック・重ね書き						
第15週	ファッションショー パターン修正	第30週	2年間の総まとめ						
評価方法	課題提出 <授業毎にパターンファイルを提出>								
教科書教材など	『AGMS操作テキスト』の中から必要なページを編集して《アパレルCAD》のテキスト作成								
実務経験	企業でデザイナー・パタンナー経験後、フリーランスで商品企画					実務経験のある教員による授業科目		✓	

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	パターンメイキングⅡ	学科名	ファッション学科			授業方法	演習
担当教員	藤原 里栄	学年・学期	2年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須選択
授業概要・ 授業内容	1年生で学んだことを基礎とし、応用編として、ワンピース、ジャケットやコートを学習します。各アイテムのシルエットや立体的な考え方を理解し、ファッションショーのパターン作成に反映できるパターン作成の習得に努める。						
到達目標	デザインからパターンをおこし、ダーツ位置、適切なダーツ分量を理解する。縫製時の線のつながり、シルエットを意識したデザイン線をひくことを目標とする。						
授業計画・内容							
第1週	ジャケットの名称・デザイン・素材について	第16週	ショー用パターン①				
第2週	ノーカラージャケット①(原型展開/身頃作図)	第17週	ショー用パターン②				
第3週	ノーカラージャケット②(身頃展開/2枚袖作図)	第18週	ショー用パターン③				
第4週	テーラードジャケット①(原型展開/身頃作図)	第19週	ショー用パターン④				
第5週	テーラードジャケット②(テーラードカラー/2枚袖作図)	第20週	ショー用パターン⑤				
第6週	テーラードジャケット③(パーツパターン抜き取り/補正)	第21週	フィッティング・パターン修正①				
第7週	テーラードジャケット④(縫い代付け)	第22週	フィッティング・パターン修正②				
第8週	ロングジレ①(身頃展開/身頃作図)	第23週	パネルラインワンピース				
第9週	ロングジレ②(テーラードカラー/パーツ展開)	第24週	プリンセスラインワンピース				
第10週	メンズワントックパンツ①(パンツ作図)	第25週	袖口リブブルゾン①(原型展開/身頃作図)				
第11週	メンズワントックパンツ②(袋布・前立て・持出・ベルト作図)	第26週	袖口リブブルゾン②(身頃展開/袖作図)				
第12週	ラグランスリーブダッフルコート①(原型展開/身頃作図)	第27週	ダブルジャケット①(原型展開/身頃作図)				
第13週	ラグランスリーブダッフルコート②(袖/フード作図)	第28週	ダブルジャケット②(衿作図)				
第14週	ディテールパターン作図	第29週	ダブルジャケット③(身頃展開/袖作図)				
第15週	課題提出/まとめ	第30週	課題提出/まとめ				
評価方法	課題提出(50%) / 定期試験(30%) 授業態度・出席(20%)						
教科書 教材など	誌上・パターン塾「ジャケット&コート編」/文化ファッション大系「ジャケット・ベスト」/「メンズウェアⅠ」						
実務経験	カジュアル製品生産兼パターンナー歴10年以上				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	作品製作実習	学科名	ファッション学科			授業方法	実習
担当教員	岡本 典子	学年・学期	2年・通年	時間数	75 時間	必須・選択	必須選択
授業概要・ 授業内容	デザイン性のある作品を形にするためには基本となる縫製技術と衣服の構造理解が必要となる為、基本パターンの展開から作られたファーストパターンを使用し、基本の縫製工程に沿った手順で創作作品製作を行う。						
到達目標	企画・デザインを壊すことなく、コンセプト通りに作品を仕上げ、コレクションショーで発表を行う。						
授業計画・内容							
第1週	ファッションコレクション創作作品製作（企画デザイン）	第16週	ファッションコレクション創作作品製作（裁断）				
第2週	ファッションコレクション創作作品製作（企画デザイン）	第17週	ファッションコレクション創作作品製作（裁断）				
第3週	ファッションコレクション創作作品製作（企画デザイン）	第18週	ファッションコレクション創作作品製作（裁断）				
第4週	ファッションコレクション創作作品製作（企画デザイン）	第19週	ファッションコレクション創作作品製作（本縫い）				
第5週	ファッションコレクション創作作品製作（パターン展開）	第20週	ファッションコレクション創作作品製作（本縫い）				
第6週	ファッションコレクション創作作品製作（パターン展開）	第21週	ファッションコレクション創作作品製作（本縫い）				
第7週	ファッションコレクション創作作品製作（パターン展開）	第22週	ファッションコレクション創作作品製作（本縫い）				
第8週	ファッションコレクション創作作品製作（パターン展開）	第23週	ファッションコレクション創作作品製作（本縫い）				
第9週	ファッションコレクション創作作品製作（パターン展開）	第24週	ファッションコレクション創作作品製作（本縫い）				
第10週	ファッションコレクション創作作品製作（仮縫い/フィッティング/補正）	第25週	ファッションコレクション創作作品製作（本縫い/装飾/仕上げ）				
第11週	ファッションコレクション創作作品製作（仮縫い/フィッティング/補正）	第26週	ファッションコレクション創作作品製作（本縫い/装飾/仕上げ）				
第12週	ファッションコレクション創作作品製作（仮縫い/フィッティング/補正）	第27週	ファッションコレクション創作作品製作（本縫い/装飾/仕上げ）				
第13週	ファッションコレクション創作作品製作（仮縫い/フィッティング/補正）	第28週	ファッションコレクション創作作品製作（装飾/コーディネート）				
第14週	ファッションコレクション創作作品製作（仮縫い/フィッティング/補正）	第29週	ファッションコレクション創作作品製作（装飾/コーディネート）				
第15週	ファッションコレクション創作作品製作（仮縫い/フィッティング/補正）	第30週	ファッションコレクション創作作品製作（装飾/コーディネート）				
評価方法	作品提出、出席、作業姿勢、授業態度を総合的に評価						
教科書 教材など	縫製機器、洋裁道具一式、オリジナルの工業用パターン、縫製工程表を使用 部分縫いではシーチングを使用、本縫いにはデザインに合わせた素材を使用						
実務経験	サンプル縫製歴5年以上				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	縫製技術	学科名	ファッション学科			授業方法	実習
担当教員	岡本 敏枝	学年・学期	2年・通年	時間数	120 時間	必須・選択	必須選択
授業概要	裏地付きアイテムの構造を理解し、イメージしたデザインを形にしていく知識と技術を身に付ける						
授業内容	工業用ミシンを使用し、実習形式で各アイテムパーツの部分縫いをマスターし、アイテムの縫製を行う。						
到達目標	<p>パーツ名、作業名を理解し、指示通り縫製工程及び縫製手順通りに作業を行うことが出来る。</p> <p>企画・デザインを壊すことなく、コンセプト通りに作品を仕上げ、コレクションショーで発表を行う。</p>						
授業計画・内容							
第1週	ワンピース 裁断	第16週	ファッションコレクション創作作品製作 (仮縫い/フィッティング/補正)				
第2週	ワンピース 縫製	第17週	ファッションコレクション創作作品製作 (仮縫い/フィッティング/補正)				
第3週	ワンピース 縫製	第18週	ファッションコレクション創作作品製作 (仮縫い/フィッティング/補正)				
第4週	ワンピース 縫製	第19週	ファッションコレクション創作作品製作 (仮縫い/フィッティング/補正)				
第5週	ワンピース 縫製	第20週	ファッションコレクション創作作品製作 (裁断/本縫い)				
第6週	ワンピース 縫製	第21週	ファッションコレクション創作作品製作 (裁断/本縫い)				
第7週	ワンピース 仕上げ	第22週	ファッションコレクション創作作品製作 (裁断/本縫い)				
第8週	テーラードジャケット 裁断/芯張	第23週	ファッションコレクション創作作品製作 (裁断/本縫い)				
第9週	テーラードジャケット 身頃の縫製/くせ取り	第24週	ファッションコレクション創作作品製作 (裁断/本縫い)				
第10週	テーラードジャケット ポケット縫製	第25週	ファッションコレクション創作作品製作 (裁断/本縫い)				
第11週	テーラードジャケット 袖の縫製	第26週	ファッションコレクション創作作品製作 (裁断/本縫い)				
第12週	テーラードジャケット 衿の縫製	第27週	ファッションコレクション創作作品製作 (裁断/本縫い)				
第13週	テーラードジャケット 裏地の縫製	第28週	ファッションコレクション創作作品製作 (本縫い/装飾/仕上げ)				
第14週	テーラードジャケット 組み立て	第29週	ファッションコレクション創作作品製作 (本縫い/装飾/仕上げ)				
第15週	テーラードジャケット 仕上げ	第30週	ファッションコレクション創作作品製作 (本縫い/装飾/仕上げ)				
評価方法	作品提出、出席、作業姿勢、授業態度を総合的に評価						
教科書 教材など	縫製機器、洋裁道具一式、オリジナルの工業用パターン、縫製工程表を使用 部分縫いではシーチングを使用、本縫いにはデザインに合わせた素材を使用						
実務経験	縫製指導実務経験10年以上					実務経験のある教員による 授業科目	
							✓

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	アパレル技術	学科名	ファッション学科			授業方法	演習
担当教員	伊木 ゆみ	学年・学期	2年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須選択
授業概要・授業内容	アパレル設計・生産について、雑貨のデザイン製作を通して実習する。企業とのコラボレーションによる制作活動を行う。						
到達目標	企画・設計・生産の工程を見通し組立てる力を養うこと。						
授業計画・内容							
第1週	染色知識	第16週	アートプリント製品 製作・販売計画・準備等①				
第2週	染色実習	第17週	アートプリント製品 製作・販売計画・準備等②				
第3週	染色実習	第18週	アートプリント製品 製作・販売計画・準備等③				
第4週	二次加工知識 捺染・刺繍・特殊ミシン	第19週	アートプリント製品 製作・販売計画・準備等④				
第5週	工場見学	第20週	アートプリント製品 製作・販売計画・準備等⑤				
第6週	課題製作 アップサイクル雑貨①	第21週	皮革染色・工芸知識				
第7週	課題製作 アップサイクル雑貨②	第22週	皮革染色・工芸実習①				
第8週	課題製作 アップサイクル雑貨③	第23週	皮革染色・工芸実習②				
第9週	課題製作 アップサイクル雑貨④	第24週	皮革染色・工芸実習③				
第10週	課題製作 アップサイクル雑貨⑤	第25週	皮革染色・工芸実習④				
第11週	アクセサリー・コサージュ実習①	第26週	皮革染色・工芸実習⑤				
第12週	アクセサリー・コサージュ実習②	第27週	課題製作・展示準備				
第13週	アクセサリー・コサージュ実習③	第28週	↓				
第14週	アクセサリー・コサージュ実習④	第29週					
第15週	施設見学	第30週					
評価方法	作品提出、出席状況、授業態度						
教科書 教材など	講師作成のプリント						
実務経験						実務経験のある教員による 授業科目	

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	仕様書演習	学科名	ファッション学科			授業方法	演習
担当教員	中村 仁美	学年・学期	2年・通年	時間数	30 時間	必須・選択	必須選択
授業概要 ・ 授業内容	デザイナー・パタンナー・ソーイングオペレーターそれぞれの目線から見た仕様指示書の読み解き方、記入方法を理解し、実践的な知識取得を目指す。						
到達目標	自分で作成した製品を見ながら、ハンガーイラスト・仕様図の作成し、各職務(デザイナー・パタンナー・ソーイングオペレーター)が見て理解できる仕様指示書を作成できるようになる。						
授業計画・内容							
第1週	仕様書について説明	第16週	小物雑貨ハンガーイラスト作成				
第2週	パンツハンガーイラスト作成	第17週	小物雑貨ハンガーイラスト作成				
第3週	パンツハンガーイラスト作成	第18週	小物雑貨採寸箇所の確認				
第4週	パンツハンガーイラスト作成	第19週	小物雑貨部分仕様図の作成				
第5週	パンツ採寸箇所の確認	第20週	小物雑貨部分仕様図の作成				
第6週	パンツ部分仕様図の作成	第21週	小物雑貨部分仕様図の作成				
第7週	パンツ部分仕様図の作成	第22週	小物雑貨検品方法について				
第8週	パンツ検品方法について	第23週	シャツハンガーイラスト作成				
第9週	ワンピースハンガーイラスト作成	第24週	シャツハンガーイラスト作成				
第10週	ワンピースハンガーイラスト作成	第25週	シャツ採寸箇所の確認				
第11週	ワンピース採寸箇所の確認	第26週	シャツ部分仕様図の作成				
第12週	ワンピース部分仕様図の作成	第27週	シャツ部分仕様図の作成				
第13週	ワンピース部分仕様図の作成	第28週	シャツ部分仕様図の作成				
第14週	ワンピース部分仕様図の作成	第29週	シャツ検品方法について				
第15週	ワンピース検品方法について	第30週	仕様書データまとめ				
評価方法	課題提出、授業態度で評価						
教科書 教材など	データ資料の配布						
実務経験	デザイナー実務経験9年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	量産知識	学科名	ファッション学科			授業方法		実習	
担当教員	藤原 里栄	学年・学期	2年・通年	時間数	120 時間	必須・選択	必須	選択	選択
授業概要・ 授業内容	アパレル生産に関わるサンプル作成から量産までの作業工程を理解し、仕様書とパターンの連携や縫製工程につながる量産パターンを作成する。 オリジナルデニムのパターンを作成し、フィッティング、補正、サンプル依頼のできるパターンを作成して縫製工場へ依頼する。								
到達目標	量産パターンへの作成工程を理解し、寸法修正・デニムパターンの縮率入れのCADの操作を理解する。 着用者にあったシルエット・サイズ出しをし、オリジナルデニムの完成度を上げる。								
授業計画・内容									
第1週	ジーンズができるまで(紡績から出荷まで) / デニムのトレンドリサーチ			第16週	ショー用デザインから縫製仕様の理解				
第2週	ジーンズの採寸・各部名称・性質			第17週	素材による仕様の知識				
第3週	ジーンズの縫製工程分析			第18週	ショー用パターン作成①(CAD)				
第4週	オリジナルデニムサイズの選定(シルエット) / オリジナルデニムパターンメイキング(CAD)			第19週	ショー用パターン作成②(CAD)				
第5週	オリジナルデニムパターンメイキング(CAD) / 仮縫いフィッティング			第20週	ショー用パターン作成③(CAD)				
第6週	デニムの縮率パターン①(マスターパターン・縮率入れ)			第21週	ショー用パターン修正(CAD)				
第7週	デニムの縮率パターン②(工業パターン化・サイズとの照合)			第22週	ショー作品制作①				
第8週	地の目の必要性・裁断方法・縫代形状			第23週	ショー作品制作②				
第9週	マーキングによる素材ごとの用尺			第24週	ショー作品制作③				
第10週	出力パターンによる裁断/芯貼り			第25週	量産パターン①(パーツ化)				
第11週	縫製工場へサンプル依頼			第26週	量産パターン②(ルール入力)				
第12週	ジーンズの加工方法			第27週	量産パターン③(文字式理解)				
第13週	ジーンズの加工イメージ作成			第28週	量産パターン④(サイズピッチ研究)				
第14週	ジーンズ採寸・検品 / 付属付け			第29週	量産パターン⑤(グレーディング)				
第15週	仕上げ付属企画・まとめ			第30週	まとめ・課題提出・レポート提出				
評価方法	課題提出(50%) / 定期試験(30%) / 授業態度・出席(20%)								
教科書 教材など	随時、資料の配布を行う。テキストは使用しない								
実務経験	カジュアル製品生産兼パターンナー歴10年以上				実務経験のある教員による 授業科目				✓

2022年度 授業計画(シラバス)

科目名	OEM演習		学科名	ファッション学科			授業方法	演習
担当教員	藤原 里栄		学年・学期	2年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須選択
授業概要・ 授業内容	アパレル生産に関する実践的な知識を習得することを目標とします。 商品の採寸・検品方法や縫製の工程分析、縫製仕様を理解し、仕様書に反映する。 商品に必要な付属知識、素材の理解、幅広く生産に関する知識を学びます。							
到達目標	各アイテムに応じた仕様を理解し、デザインから仕様を選択し、わかりやすい仕様書の作成。 付属の知識を深め、アイテムに関する付属の選択、そして、量産知識と連動し、オリジナルデニムの完成へとつなげていきます。							
授業計画・内容								
第1週	製品ができるまで / イラストレーター基本的作業			第16週	様々な縫製仕様			
第2週	ハンガーイラスト1(ベーシックシャツ)			第17週	チノパンツ仕様研究			
第3週	ハンガーイラスト2(ジーンズ)			第18週	縫製仕様書(チノパンツ展開図表)			
第4週	縫製仕様部分図作成			第19週	縫製仕様書(チノパンツ展開図裏)			
第5週	資材の知識(付属・糸・ネーム類)			第20週	オーバーオール仕様研究			
第6週	縫製仕様書とは(記載に関する内容)			第21週	縫製仕様書(オーバーオール展開図表)			
第7週	縫製仕様書(ジーンズ指示書)			第22週	縫製仕様書(オーバーオール展開図裏)			
第8週	縫製仕様書(ジーンズ展開図表)			第23週	ミリタリーシャツ仕様研究			
第9週	縫製仕様書(ジーンズ展開図裏)			第24週	縫製仕様書(ミリタリーシャツ展開図表)			
第10週	縫製仕様書(Gジャン指示書)			第25週	縫製仕様書(ミリタリーシャツ展開図裏)			
第11週	縫製仕様書(Gジャン展開図表)			第26週	アウター仕様研究			
第12週	縫製仕様書(Gジャン展開図裏)			第27週	縫製仕様書(アウター仕様書作成①)			
第13週	縫製仕様書(ワークシャツ簡易版)			第28週	縫製仕様書(アウター仕様書作成②)			
第14週	仕上げに関する知識			第29週	縫製仕様書(アウター仕様書作成③)			
第15週	検品に関する知識(縫製不良のチェック項目)			第30週	まとめ・レポート提出			
評価方法	課題提出(50%) / 定期試験(30%) / 授業態度・出席(20%)							
教科書 教材など	随時、資料の配布を行う。テキストは使用しない							
実務経験	カジュアル製品生産兼パターンナー歴10年以上					実務経験のある教員による 授業科目		✓